

【校長室便り】

No.48

H31年2月21日(木) 土佐町小中学校 谷内宣夫

感動する話

先日、本屋で立ち読みをしていて、目にとまった「感動する話」を紹介します。

たくさん見つけたので、シリーズ化して発行する予定です。

すべて実話だそうです。



「母への感謝」—私を大学に通わせてくれた母へ—

あなたは私を産むまでずっと父の暴力に苦しんでいましたね。

私が産まれた時、あなたは泣きながら喜んでくれたんですね。

私が1歳の時、借金を抱えたまま父が自殺しましたね。

借金を返すために昼はパート夜は居酒屋で仕事の毎日でしたね。

保育園では遠足のおやつは雑穀のおはぎでしたね。

小学校の給食費を払えない月もありましたね。

修学旅行のおみやげは、ご当地のキーホルダーだけでしたね。

中学校の制服は、親戚のお下がりでしたね。

高校のお弁当はいつもご飯に梅干しと海苔でしたね。

無理を承知で、大学に行きたいと頼んだ時、

あなたは反論しませんでしたね。

ゴミ処理場から捨てる予定の参考書をもらいに行きましたね。

お金がかかる私立は受けられず、国立専願受験でしたね。

センター試験の前日には、初めて特上寿司を

食べさせてくれましたね。

センター試験に失敗したけど、

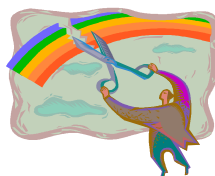
あなたは最後まであきらめないよう励ましてくれましたね。

前期試験に落ちて、一度私は自殺しかけたね。

あなたは怒ることもなく、

ずっと私にあやまり続けていましたね。

私もあなたにずっと謝り続けましたね。



そして気持ちを切り替えた後、私は頑張って勉強して、

何とか後期試験に合格することができました。

あなたはずっと「おめでとう、おめでとう」

と泣き続けてくれましたね。

でもあなたは入学の準備の時に倒れて病院に運ばれましたね。

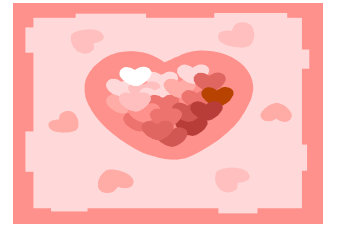
医者が、ガンが全身に転移していて、

これから1週間が峠だと告げましたね。

私がただただ泣き続けている時にあなたは、

「この身体の傷やガンの一つ一つが、あなたを育て上げた立派な勲章なのよ」

とほほえみながら言いましたね。



あなたは最後まで泣くことも苦しむこともなく、この世を去りましたね。



今私は医者になるために、毎日一生懸命に勉強しています

よ。あなたの命を奪ったガンに苦しむ人々を助けたいから。

私が育った環境は、決して恵まれてはいなかったけど、

あなたの子として生まれて、あなたに育てられて本当に良かったよ。ありがとう、お母さん。

たよ。ありがとう、お母さん。



悲しい話だと感じる人もいるでしょう。でも私(谷内)は、

「お母さん」の強さ・優しさ・愛の深さを感じ、我が子を思う

気持ちのすごさに感心させられました。

また、「私」のたくましさ・意志の強さ・相手の気持ちを察する

力・行動力(実行力)も同時に感じ取り、涙があふれてき

ました。皆さんはどんなに感じたでしょう？

ご家族でも語り合っていたら嬉しいです。

